

令和6年度 佐渡市立二宮小学校 グランドデザイン

教育目標

ゆたかに

かしこく

たくましく

重点目標

自分も友達も
大切にしよう

自ら学びに
向かおう

自分を
鍛えよう

「いじめをしない、許さない、命を大切に
する意識」を醸成します。

〈達成目標〉

- 「やさしい言葉づかいで、友達と
なかよく活動している」児童を80%以上
にします。
- 「自分のよいところを知っている」
児童を80%以上にします。

〈具体的な取組〉

- 学級目標の到達度チェックやp4cに
よる対話及び振り返りをとおして自己
肯定感を高め、よりよい人間関係づくり
を行います。
- いじめ見逃しゼロの年間目標を立て、
いじめについて考えたり振り返ったり
する場を設けます。
- SCを交えたいじめ
不登校対策委員会を
開催し、情報共有及び
対応策を協議します。



「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実
感できる授業づくりに取り組みます。

〈達成目標〉

- 自分の考えや学びを対話や活動な
どの中で表現できる児童を75%以上
にします。
- 学習内容が分かる児童を75%以上
にします。

〈具体的な取組〉

- 相手意識をもって、自分の考えや
学びを表現する場を確保します。
- 日々の授業改善に努めるとともに、
パワーアップタイム(習熟タイム)を設け
ます。



心身の健康を目指し、体力の向上と
健康教育の充実を図ります。

〈達成目標〉

- 体育の授業や休み時間に体を動か
すことが楽しいと感じる児童を85%
以上にします。
- 家庭で決めたメディア使用のルール
を守る児童を80%以上にします。

〈具体的な取組〉

- 体力の伸びや体を動かすことの楽し
さを実感できるような授業を設定したり、
それに伴うカードやノートの作成、活用を
したりします。
- 家庭でのメディア使用のルールにつ
いて、計画を立てたり見直したりする機会
を設け、自己管理能力の育成を図ります。
- 学校保健委員会を開催し、学校・家
庭・地域が連携して、個々の健康課題に
取り組みます。



地域の特徴を生かし、地域とともに歩む学校づくり

〈地域とともに〉

- ◆ 人との出会いを大切に、地域に
学ぶ教育活動を推進します。
- ◆ 青少年赤十字活動(JRC)のリー
ディング校として、地域社会に貢献す
る児童を育てます。

〈保育園・学校間での連携・協働〉

- ◆ 家庭・中学校と連携し、年間をとお
して家庭学習の習慣化や生活習慣の改
善等に取り組みます。
- ◆ 保・小・中で連携・協働し、佐和田
中学校区の共通課題の解決に努めま
す。

〈保護者との連携・協働〉

- ◆ コンパクトなPTA活動をめざし、活動
をより焦点化・活性化させます。
- ◆ 基本的な生活習慣と家庭学習の習慣化
に向け、連携した取組を推進します。
- ◆ たより、ホームページによる学校情報
のきめ細やかな発信に努めます。

コミュニティ・スクールの設置・運営による教育活動の整備



二宮小学校に通う児童には、こんな力を付けてほしいと考えています。

① 笑顔であいさつし、笑顔で話すことができる力

② 自分の考えを相手に伝えるように表現できる力



そのために

学年・学級では

- ・明るく元気に、あいさつ・返事
- ・規則正しい生活習慣の定着(自学・メディアコントロール)
- ・お互いの良さを声に出して認め合う
- ・児童一人一人がいきいきと活動する学校づくり
- ・やさしい言葉づかいやおもいやりのある行動ができる集団づくり

健康・運動では

- ・運動の楽しさを知り、進んで運動に取り組む
- ・心身の健康維持に関心をもち、実践する
- ・栄養と睡眠、メディアコントロールを意識して生活できる

地域とともに

- ・人との出会いを大切にし、地域に学ぶ教育活動を推進
- ・青少年赤十字活動(JRC)のリーディング校として、地域社会に貢献する児童を育成

授業・学習では

- ・授業は新しいことを知る学びのアトラクションと考える
- ・学びに向かう姿を養う(個別最適・協働的な学び)
- ・友達の考えや意見をよく聞き、自分の考えをはっきり伝える
- ・家庭学習の習慣を身に付ける

学活・道徳では

- ・表情豊かに発表や説明ができる
- ・互いの良さに気づき、認め合い、伝え合う場面を設定する
- ・p4c 探究の対話等を行い、よりよい人間関係づくりを行う
- ・学級目標達成度をチェックするなど、学級力を高める

生活・総合的な学習の時間では

- ・未来につながる生き方や態度・能力の育成
- ・地域学(佐渡学)、探求学習や体験学習、キャリア教育、環境学習等を通して未来を予測し、生活や将来を考える学習

子どもが真ん中
一人一人が主役で
輝く
温かい学校

最も大切にしたい 基盤となるもの

家庭・地域でも
協力をお願いします

すべての基盤となるのは「マナー」と「モラル」＝当たり前のことを当たり前に
(あいさつ・返事・安心安全な学校生活のためにやるべきこと・思いやり・協力・感謝 そして笑顔)